

第3回ワクチンチーム会合（日本歯科医師会との意見交換）

《開催要領》

- ・開催日時：2021年11月24日（水） 13：00～13：25
- ・参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣
佐藤 英道 厚生労働兼内閣府副大臣
島村 大 厚生労働兼内閣府大臣政務官
田畑 裕明 総務副大臣
堀 憲郎 日本歯科医師会会長
柳川 忠廣 日本歯科医師会副会長

《議事概要》

（堀内大臣）

- ・堀会長をはじめ三師会には、大変お世話になっており、感謝申し上げます。
- ・歯科医師については自治体において打ち手の確保が課題となっている中、4月末に一定の条件の下にワクチン注射を可能とした。接種後の経過観察、そしてまた接種のための注射にご協力いただくなど、接種体制の構築に貢献いただいた。
- ・追加接種にも歯科医師会の先生方のご協力を賜りたく、率直なご意見を賜りたい。

（堀会長）

- ・このような機会を得られたことに感謝する。
- ・日本歯科医師会では、歯科医療従事者への追加接種について課題や問題点のアンケート調査を都道府県医師会に対して実施している。本日はその内容を踏まえて意見を申し上げたい。
- ・また歯科医師によるワクチン接種についても、大臣に報告をさせていただく。

（歯科医師会）

- ・歯科医療現場は歯科医師やスタッフへの感染リスクが高いとされる中で、これまでの5回の内部調査では、歯科治療を通じた感染拡大が明らかに疑われる事例報告は無い。これは日頃から歯科医療現場ではマスク、ゴーグル、手袋等の感染防止対策が徹底されていることに加えて、口腔外バキューム、換気、密を避ける予約調整等を講じてきた結果だが、現場のリスクが高いことに変わりはなく、追加接種についても歯科医療従事者に対しては確実な優先接種をお願いしたい。
- ・追加接種については、これまで以上に市区町村が主体的に実施するものと理解するが、基本的な考え方については地域差が生じて混乱しないよう、必要に応じて国からの発信をお願いする。
- ・追加接種については、同じ場所で複数のワクチンが扱われることがあることから、適切な管理と術式を徹底していただきたい。
- ・今後ワクチンの接種率が下がることで、感染が拡大することがないようにワクチンの確実な確保と費用の問題等、国民が接種を受けやすい対応をお願いしたい。
- ・将来に向けてワクチンや治療薬の国内での開発能力や、質、量の確保を求めたい。
- ・歯科医師によるワクチン接種については、注射のために必要な研修を修了した歯科医師は1万

9000人を超え、10月末現在で延べ2万8000人を超える歯科医師がワクチン注射に出動した。
コロナ治療の最前線と医療界全体が連帯する姿勢を示すことができた。
3回目接種についても全面的に協力していきたい。

(田畑副大臣)

- ・ 目詰まりがないように常に我々もチェックはやっていきたい。

(歯科医師会)

- ・ 今までのワクチンの接種体制構築は、医師、看護師が中心だったという認識が市町村に大前提としてあるので、歯科医師の活用を国からも説明してほしい。

以上